

まちかど ネットワーク

お便りをお待ちしています



このコーナーは、皆さんの意見や地域のお話をお届けしています。あなたの情報を、ぜひ広報広聴課へお寄せください。

☎55-2700 ☎51-1456

✉kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp

2021 ズームアップ

地域密着型商店街を目指し、
ことし3年の節目を迎える

吉原宿一の市

吉 原商店街で毎月1日10時から開催されている「吉原宿一の市」。ことし6月で、開始から3年になります。

「吉原宿一の市」は、新鮮野菜・菓子・手づくり総菜など、各商店や協賛出店者が、それぞれイチオシの品物を店先などでワゴン販売しています。出店数は約70にもなり、開催日には商店街のあちらこちらに人垣がでます。ラクロス吉原の前ではお目当ての商品を手に入れようと9時ごろから人が並び始め、販売開始の10時には毎回長蛇の列ができ上がります。



▲商店街に、さまざまな商品のワゴンが並びます

「一の市」実行委員長の木村光亮さん（吉原2）は「私たち



が目指すのは地域に密着したぬくもりのある商店街。一の市は地域に徐々に浸透し、多くの皆さんに来ていただけるようになりました。商店主からも『一の市の日』は店の売り上げがいい』という声が聞かれるようになり、少しずつ目的が達成されつつあります。今後、本格的な高齢社会を迎えるに当たり、商店街の役割は増してくると確信しています。今後もお客様とのふれあいを大切に、ニーズに最大限こたえていけるよう、努力したいと思っています」と話します。

「一の市」開催日は、ラクロス吉原北側の本町駐車場と、静岡銀行吉原支店南側の虹いろどパーキングを9時30分〜15時の間、無料開放しています。

毎月1日、皆さんも自分好みのものを探しに、吉原商店街を散策してみませんか？

出店者も随時募集しています。

吉原商店街振興組合

☎(51)5227



田んぼが一面、春色のじゅうたんに

レンゲ草

こ の時期になると、田んぼを一面ピンク色に染め上げるレンゲ草。毎年4月初旬からちらほら咲き始め、15日前後には見ごろを迎えます。市内各地の田んぼなどで見られますが、市道吉原浮島線（東部市民プラザ北側道路）の富士岡から浮島にかけて、道路両側の田んぼがところどころレンゲ畑になり、私たちの目を楽しませてくれます。

特に東部市民プラザ周辺では、レンゲ畑と富士山、東海道新幹線を一緒に撮影しようと、市内外から多くのカメラマンが訪れます。



▲レンゲ畑で春を感じる子どもたち

このレンゲ草は自生しているのではなく、米農家などの皆さん



んが種をまいているのです。吉永地区で最初にレンゲ草の種をまき始めたのは、東部市民プラザ北側の田んぼで米づくりをしている仁藤正敏さん（富士岡）。「20年くらい前、知り合いの養蜂業者に、レンゲ草のみつをとりたいからと頼まれたのがきっかけでした。」

レンゲ草は田んぼの肥やしになると言われていますが、コシヒカリなど、稲の品種によっては適さないものもあります。稲の品種を考えながら、10月ごろに種まきをするんですよ。毎年皆さんに喜んでいただいているので続けてきました。『きれいですね』と皆さんが笑顔で声をかけてくれ、うれしいです」と話します。

田起こしが始まる前の、4月末くらいまで楽しめるレンゲ畑。市東部に行く機会があったら、市道吉原浮島線を通ってみてはいかがですか？春を感じる事ができますよ。